

チャレンジ!

海辺の館の新展開



ウナギ屋のぬか漬けと科学館

昨年度の広報では、展示や舞台をつくる裏方の立場から海辺の公立施設を紹介する「展示の裏方から」を、リレー連載しました。

今回の「チャレンジ!」海辺の館の新展開」は、その続編にあたります。前回の施設紹介から、もうひとひねりして、私たち裏方が、展示や舞台などに力を注ぐ一方で、あなたのために、新しい試みや工夫などについて、皆さまにお伝えしてまいります。この広報を読んで、各施設に一層の興味を感じて頂けるなら、幸いです。

さて、初回は『蒲郡情報ネットワークセンター・生命の海科学館』からの紹介で、テーマは「ウナギ屋のぬか漬けと科学館」です。



ウナギ屋のぬか漬け

ウナギ養殖の本場である一色や浜松が近いせいか、蒲郡にもおいしいウナギ屋さんがたくさんあります。関東風のふつくら蒸したウナギも、関西風のぱりぱりジュシーなウナギも、どちらもそれぞれにおいしいものです。特に、熱かんとともに楽しめるときは・・・。

そして、ウナギ屋で一杯やるなら、欠かせないのがぬか漬けです。商売がら毎日ぬか床をかき回すウナギ屋のぬか漬けは、ウナギに劣らずおいしいものと相場が決まっています。

このぬか漬けのような蒲郡情報ネットワークセンター・生命の海

科学館の主役ではないけれどおいしいものを紹介します。



科学館のデジタルなぬか床

ツツジと芝生に囲まれた生命の海科学館には、46億年にわたる地球と生命の歴史をたどる、さまざまな化石や隕石が展示されています。これらは、まさに科学館のメインディッシュ、ウナギ屋の蒲焼きです。一方、化石や隕石のかたわらには、膨大な情報量の展示解説を納めた、コンピュータ端末が置かれています。こちらはぬか床にあたります。今回、皆さまにご紹介するのは、このデジタルなぬか床から生まれたデジタルなぬか漬け、地球科学のゲーム教材「★トレジャー・プラネット★」です。



ただいまぬか漬け中

今年1月、形原中学校における理科の「地層と化石」の授業が、同校のコンピュータ・ルームで行われました。生徒たちの歓声に混じって、地学ハンマーをふるう音が、あちこちのパソコンから鳴り響いていました。なぜ、パソコンからハンマーの音が・・・。実は、コンピュータのなかの「★トレジャー

・プラネット★」で生徒たちが、三葉虫や首長竜の化石を発掘しようとしていたのです。



▲形原中学校での授業風景
友達どうして相談し、ときに先生に助け舟を出してもらいながら、化石の発掘にチャレンジ。

皆さんは子どもどものころ、化石や隕石を探す冒険に出かけてみたことあるでしょうか？

「★トレジャー・プラネット★」はそんな思いをかなえてくれる、ゲーム感覚満載のインターネットウエブサイトです。このサイトでは「トレジャー・ハンティング(II)たからさがし」「デジタル標本箱」「地球カレンダー」の、3つの世界を楽しめます。

「トレジャー・ハンティング」では、ハンマーや地質図、磁石など、化石や岩石を採集するための道具を選んでリュックに詰め込み、世界中に化石発掘・隕石採集に出かけます(もちろん、コンピュー